



114
A1002



會計ノ學トハ如何ナルモノゾ

ナリ富國ノ上ニ就テ其ノ入費ヲ取立ル方法及ヒ其入費ヲ
取立ツルニ就キ尤モ良法ヲ説キ且ツ既ニ取立ツル処ノ物ヲ國
費ニ用ユルヲ叙述セシモノニテ即チフ井ナニスノ學是ナリ
フ井ナニスノ基本トナルモノニツアリ一ニ曰クシユスチスノ法理法ト
詠ス
一ニ云ク「コノミポリチリ」其ノ所以ヲ如何ニトナレハ凡ソ政府ヨリ
万民ニ對シテ必ラス道理ノ法ヲ始終ニ行フヘシ凡ソ國內ノ
万民ハ政府ノ保護ニヨツテ團聚スルモノナレハ政府ハ其團聚
セル人民ノ安全富庶ナル様ノ方法ヲ施サスニハアルヘカラス

大正十一年四月
大隈侯爵邸寄贈

所謂之レヲ富マスノ法ハエコノミホリチリ是ナリ

シユスチスノ法ヲフ井ナニスニ於テ如何ナル工夫ニ用ユル欤

凡ク會計局ニテノ務ハ國民万民ノ害無カラシムル可シ

故ニ團聚スル所ノ庶民一般ヲ害スルモ並ヒニ一民一夫ノ

為メニ害アルヲモ務メテ其害ヲ除キ以テ一夫モ一夫ト

負カス其ノ所ヲ失ハヌ様ニ為サシムヘシ

一國中政府ノ保護ヲ受クルノ人民其政府ニ依ムル所ノ

租税ハ必ラス均一ナルヘシ苟モ其國ニ在リ其政ヲ受クル

者ハ其國ノ立タンカ為メ其有スル所ノ産ニ因リ或ヒハ其政

府ヨリ蒙ル所ノ恩ニ酬ヒテ相應ノ税ヲ依メ受メ免カル

モノナカラシムヘシ

當時日本ノ制度ニテ依税ノ法第一此ノ理ニ背ムク

四民中富ヲ為シ安樂ニ生活セル者政府ノタメ一物ヲ

依メス尤艱難辛苦スル農民ノミ其力ヲ盡ス故ニ日本

ノ地ハ高ノミ次第ニタク農ハ次第ニ減シ日ヲ重サ子年

ヲ積レハ必ラス土地荒廢シ物産缺乏スヘシ是レ制度ノ

理ニ背ムク故ナリ

「エコノミホリチク」ヲ「フ井ナニス」ニ合併スルハ如何ナルノ方法ナルヤ

國ヲ富マスルニハ其本アリ必ラス之レヲ敗フル可カラス政府ニ

於テ用ユル所ノ經費ハ必ス節ニシテ儉約シ驕濫ナル可カ

ラス此ノ大綱領ノ目的ヲ失ハヌ様ニ確守スルハ即チエコノ
ミホリチクノ法ナリ

國ノ財物百貨ハ何ノ國ニ於テモ必ラス悉ク地面ヨリ
生セサルハナシ今其財物百貨ノ生ル土地ニ地稅ヲ厚歛
スレハ其土地ヲ耕作スル者其利ヲ奪ハレ其力次第ニ
薄クシテ土地ヲ肥ヤシテ富饒ナラシムルノヲ為スノ能ハ
サルノミカ從來ノ肥土モ其世話ヲ為スノ能ハサレハ行クニ
化シテ瘠土トナリ瘠土トナレハ其生スル所ノ土產モ漸ニ
鮮少ニナル且ツ民ノ得ル所ノ利薄クシテ餘金ナケレハ
他人ノ作り出セル品物モ買フノ能タハズシテ内國ノ交易

モ從ツテ衰微ニ至タル

政府ヨリ出ス經費ノ支

允ツ政府ニテ國用ノタメ必ラス出サスニハ有ル可カラサルノ經
費ハ預カシメ政府ニテ其ノ出ス多少ノ數ニ應シテ其金ノ
入ル本ヲ立ツヘシ

平民ニテ其產ニ應シ入ルヲ量リ出タスヲ為スノハ普通ニシテ
若シ其出ルヲ量リ入ルヲ為サントセハ直ニ其產ヲ破壞スト云ヘ
トモ國用ヲ足スハ是レニ反ス先ツ其出ルヘキ數ヲ計算シテ
然ル后ニ其入ルヲ爲ス

政府ニテ用ユルノ經費ハ其國ノ安全ニ治リテ其國民ヲ

保護スルノ為メニスル所ナレハモシ其經費ヲ減スレハ國ヲ安全ニ治ムルヲモ能ハス土地人民ヲ保護スルヲモ能ハスシテ大ニ其人民ヲ傷害ス故ニ國ノ安全ヲ謀リ國ノ富ヲナス為メニスルニ因テ其政ヲ施設スルニ付キ出スルノ經費ハ之レヲ民ニ取り立テ辦スルノ法アリ夫レ政府ヨリ經費ヲ辦スル為メニ取立ル所以ハ前ニモイエルコトク土地人民ノ保護安全ノタメナレハ苟モ其國ノ人民タルモノハ一夫モ免カレスシテ經費ヲ辦セン為メ其産ニ應シ及ヒ其政府ヨリ蒙ル所ノ恩ノ厚薄ニ應シテ必ラス其稅ヲ出サスニスアル可カラズ

今日本支那ノ如キハ入ルヲ量テ出タ為ス是レ會計

ノ本ヲ失スルモノト謂可シ

政府ヨリ取立ル租稅ノ限ノ事

凡ソ稅ヲ取ルニ必ラス是ヨリシテハ取ルヘカラスト云フノ限アリ如何トナレハ今人民ノ生平生活ヲ為シ得ルハ其畜積財本ヨリ經營シ得來ルノ利息ヲ以テ今日ノ生業ヲ為シ得ルナリ譬之ハ農民ナレハ其土地カ即チ元金則財本ニシテ其生スル所ノ土産百物カ即チ利息ナリ屋主ナレハ其持ッ所ノ屋カ即チ元金ニシテ其屋賃ハ即チ利息ナリ故ニ其元金ノ内ヨリシテハ政府ニテ没シテ取ル可ラス其利息ノ内ヨリシテ取ル可シ今其元金ヲ取ルカ或ハ其利息ヲ遺ラス取レハ國

ヲ富マスノ源竭キテ其國ハ漸クニ貧弱ス若シ其利息ノ内ニテモ成ル丈ケ之レヲ薄ク取レハ民ハ其利息ヲ以テ愈本金ニ加ユル故ニ是レヲ以テ土地物産モ次第ニ開ラケ國益繁昌スルナリ

政府ノ経費ヲ儉約スル

儉約ヲ為スルハ「エコノミ」ナリ「ク」ニモ「リ」ユスナクニモ其道アリ前条ニ云ヘル如ク國民ニ其利息ヲ余計ニ得サスル程税ノ入ルモ追々余計ニナリ且ツ國中ニ財貨多ク生スハ万一國家ニ非常ノ変アルトモ預メ用意金ヲ積ミ直クニ均シ又儉約ノ内ニモ陋法アリ譬へハ儉約ノ為メニ障碍

セラレハ國ノ安全ニ治ルモ能ハス或ハ道路ノ修治モナサル如キハ陋法ノ儉約ト云フ可シ道路ノ修治ヲ為サレハ人民ノ往來ヲモ妨害シ運輸ノ品物モ鮮少ニナツテ且ツ高價トリ國內ノ交易ヲ害ス又政府ノ官費ニ俸金ヲ減少スル是レモ陋法ノ儉約ナリ官費タルモノナレハ其等級ニ從ツモ必ス其調度アリ然ルラ政府ヨリシテ其調度ニ充ツルニ足ルノ俸金ヲ与ヘサレハ却テ其國其政府ニ余計ノ損アリ

賄賂ノ如キ
モ是ヨリ生ス

政府経費ノ條目ハ如何

第一 國王及ヒ皇族ノ用度

第二 外國交際ノ入費

海陸軍ノ入費 ドイツ外國使節ノ入費

第三 内國ノ入費 刑法局ノ入費

人民取締リノ入費 會計局ノ入費

右政府ヨリ出ル処ノ入費

ドメーンスノ支

国王ノ所持セル
土地ヲ云フ

政府ノ入費ヲ國中ヨリ取立ルニノ法アリ、政府ノ入費ハ悉ク国内人民ヨリ出ルモノナルニ其国内ニ就テ一部分ヲ国王ヨリ支配シ年貢ヲ取立テ政府ノ會計ヲ立ルモノアリ、此ニ様ノ法当今各国ニ用ユルノ法ナリ、其外ニレガールトハ、運上ニ類スルモノアリ、此レガール亦先ニ説ケル人民一部ヨリ取立ルモノアリ、時トシテハ利息ニ就テ取立ルモノアリ、政府ノ入費分テニトス、定額ノ入費及ヒ臨時入費ナリ、定額ノ入費ハ年々同様ニ取立來ルモノナリ、臨時入費ハ非常事件ノアルラアタリテ格別ニ取立ルモノナリ

下定額ノ入費ハ地面ヨリ取立或ハ利息ノ高ニ就テ取立ル
臨時入費ノ取立ハ五ノ出處アリ第一元來ノ畜ヘ金
第二從來ノ税額ニ増シ方ヲ掛クル支第三公領ノ地ヲ
人民ニ賣渡ス支レガールヲ賣ル支及ヒレガールヲ増ス支
年限ヲ以テ税銀ヲ賣ル支内民モシクハ外民ハ年限ヲ定メ定額
ノ税ヲ賣ルト此類往時ハアリカニ當時ハ
第四國民ヨリ借リ入ル支第五外國ヨリ借リ入ル支
ドメーニスハ何デ有欲且其理ハ如何

國王ノ持有セル土地ハドメーニスト云フ此ノドメーニス本來
國王ノ有セルモノアリ又ハ人民ヨリ段々ニ國王エ依サンタルモ
アリ歎羅巴ニテハドメーニスハ政府ノ會計ノ為メニハ極メテ

此ニ少ノモノナリ如何トナレハ誰ニテモ我地面ヲ我レ自カラ作ル
ニハ他人ノ地面ヲ作ルヨリハ余計ノ働ヲ用ルナリモ地面
ヲシテ國王ノモノタラシメハ人民皆我地面ノ如ク働ヲナサルベシ
如シ此ノ得失ヲ知ラント欲セハ公領五十年ノ跡ノ取箇ノ高ト
當入テノ高ト比格シ平民領ノ高同年間ヲ比格スレハ必ラス
民領ノ土地余計ノ取り高アラン歎羅巴ノポメライトイエル
處ニ公領アリシニ千七百廿六年ニハ一歲ノ入り高十三万七千
ドル七十二年後三十六万三千ドルノ入り高ニ成リタリ是ラ平民
領ノ入り高ニ比スレバ許多ノ相違アリ人々我モノトメ働ヲ用
レハ年歲ニ高價ニ成リ人口ノ年ヲ逐テ穀物余計ニナルニ

從ツテ耕作ノ方モ次第ニ開ケ今迄開ケガリシ地面モ人
口ノ増殖スルニ從カヒ開墾ノ力ヲ盡スヘシ故ニ国王ハ我
利ヲ有セズ人民ヲシテ各々利益ヲ得セシメサレハ地面ヨリ
出ツヘキ程ノモノモ出ヌ様ニ成リ行ク也

注 政府モ是等ノ事ヲ行ハバ人口モ年ヲ逐テ繁殖ス
ベシ近クハ亞米利加ノ如キ廿年間人口一培ヲナサシメリ
是ハ國內ノ人民ノ増殖ノミナラス他國ヨリ教化スルモノ
有ルカ故ニ此ノ如ク増殖ヲナセリ畢竟政府ノ所置
宜キノミナラス國域濶大ニメ山野荒漠ノ土地就テ
産業ヲ為スヘキ所多ケレハナリ

一 公領讓リ渡シ方ノ事

國王或ハ政府ニ於テ土地ヲ有テル支前條ノ如ク格別ノ
利益ナキニ因テワハマク其土地ヲ讓渡シテ然ルヘシ此ノ讓
渡方様々アリ九十年ノ間人ニ貸渡シ其金ヲ以テ國債ヲ
拂フモ可ナルベシ何トナレバ地面カ國民ノ手ニ落シハ政府ノ持シ
ヨリ公領計ノ作物モ出ヌ人人口モ從ツテ増殖スレバナリ

注 西洋ニテ公領ヲ預クルノ仕方日本ト大ニ相違ナリ且ツ其公領ガ日本ニ比スレハ聊ノモノニテ夫レヲ直千ニ百姓ニ渡サス役人ガ人民ヲ雇フテ耕作サセル事トナリテアリ思フニ此仕方甚タ宜シカラザルヘシ

一 國王及ヒ皇族ノ入費ハ其私有セル所ノ地面ニ於テ極ムヘシ

如何トナレハ其土地ハ祖先ヨリ傳ハリ来ルモノナルカ故ニ是レヲ私ノ入用ニ定テ外ノ税額ハ全ク公用ノ人費トナルユヘ人民皆悦服シテ税額ヲ出スナルヘシ

一 九十年ノ間人民ニ貸渡シノ支

既ニイエルカ如ク政府ヨリ直クニ田地ヲ作ル支宜ニカラサルユヘ二十年三十年或ハ六十年ト九十年迄ノ中ニ年限ヲ定メ田地ヲ人民ノ弁理ニ從カヒ分割シテ貸シ渡シ夫役等ノ支ヲ罷メテ其替リニ金或ハ小麦ニテモ其年貢ヲ極ムヘシ尤麦ニテ極ルナラハ前六年ノ平均ヲ取リ以來六年ノ極マリシ立ツヘシ

一 政府ニ支配セル山林ノ支

政府ニ属セル山林ノ支ニ就キ必ラスニツノ法則アリ一ニ貸シ渡シ他ニ貸シ渡スヲ禁スヘシニツハ萬一貸シ渡スナラバ次ノ三則ヲ守ルヘシ第一ニ八年ヲ経ルニ從カヒ材木ノ價騰貴スカ故ニ其利益ヲ失ワサルヤウニ貸渡スヘシ第二ニ貸渡シテ后其借リ主ガ材木ヲ伐ルニ及ニテ一時ニ伐リ盡シテ山ヲ荒スノ患ナク樹木ヲシテ生育セシムルヤウ取テラフヘシ第三ニ他ノ山林ヲ所持セル平民ノタメニ損失ナキヤウ政府ヨリ所置セサルヘカラス中古以來歐羅巴ニオ井テ世上ノ材木漸ク追テ盡クヘシト云フノ論アリ然故ニ世上材木ノ價日ヲ追ツテ騰貴シ

各人皆材木ヲ殖育スル事ニ心ヲ用ヒ加ルニ昔ヨリ不規則ニ
伐リ拂ヒシモ今ニテハ大切ニ伐リ用ユル様ウニ成リタルコトハ是
亦政府ニ私有セルヨリハ平民ニ任セタル方余計ノ利益アルベシ
ノ
鑛山ノ支

鑛山モ亦政府ニ属セルヨリハ人民ニ任セタル方國益多カ
ルヘシ鑛山ノ利益ハ政府ノ為ニナル目的ハ勿論ナレトモ其
取立國害トナルヲアリテ甚宜シカラス故ニ鑛山モ平民ノ
手ニ渡シ盛盛ニ競ソヒ開カセテ政府ニ於テハ只相当ノ稅ヲ
取立ツヘシ國中却テ余計ノ利益ヲ得政府モ亦却テ
許多ノ攸納アルベシ

一 政府ニ属セル作業ノ支

沙金ヲ川ヨリ浚ヒ出ス及ヒ殺生或ハ塩濱其他機械ニ
就テノ他業等モ所ニヨリ政府ニ属セルモノアル是等モ亦
其所ノ地主ニ任カセ政府ハ只運上ヲ取立ル方却テ餘分ノ
利益アルヘシモニモ政府ニテ之ヲ權スルハ平民ノ働ノ妨ケニ
成ル程ノ悪キ品物ニテモ自カラ之レヲ買ヒ求ムルニ至リ其害イ
フヘカラサルモノアルヘシ

一レガールノ害アル也

レガールハ税ノ一種類ニトメニヨリ取立ツル処ノレガールハ
ヲモニ鑛山及ヒ山林ニツイテ取立或ハ政府ヨリ肉證ニ
取立ツル処ノ税ナリモモ是ヲ取立ハノポールト唱フル処ノ
一種專賣ノモノヲ設ケサレハ取立カタニ故ニ向後世上ノ
弊害トナルヲ歎シ

往時學者ノレカールヲ以テヨキモノトセシハ政府ヨリ既定ノ
税額ヲ増サシテ利益ヲ得ルカ故ニ便利ナル事トセシカドモ
元是レ固陋ノ偏見ニ出テシカモ人民自由ノ働ヲ妨タケ
真害押テ厚賦重税ヨリモ多シ夫ノ學者ノ説ニハ國民ガ

知ラズ、自然ヲ以テレカールヲ拂フニ仍テ害ナキモノトセリ
乍併知ラスニ是ヲ拂ハシメヨリハ知ツテ而メ拂ハシメコソ
論ヲ待タステ公平ノ心置トイフヘシ

レカールハラモニ塩烟草焼酎等ニカケテ取立ルモノニ全試ニ
塩ニツイテ論スルハ人民ニ政府モシクハモノ。ポーハモノポーハハ

外ハ余ノ出来ス高業ヲ許スノ名ニヨリ其手ニテ作ル知ノ塩ヲ買

日本ニテハ株ノ如キモノワセテ、人ノ塩ヲ買フヘカラシメサルタメニ嚴シキ制度ヲ立タル

ナリ

塩ノ交易ノ自由ナル処ニテハ一頓ノ價三ドル或ヒハ四ドルノ
相場ナリ乍併レカールヲ取ルノ國ニ於テハ其價十ドルニ至ル

九百万ノ人口アル國ニオ井テハ塩ノレカールニテ政府ニ收マル

ヘキ利金が二百万ドルニ当ル而メ是ヲ取立ルニハ百五十万ドル

ノ入費ヲ用テヒサレハアタハズ是ハ取締人給料或ハ取立方等ノ入費ナリ此ノ如キ僅ノ

取立ニツイテ人民ヲ苦シミラカケヨリハ自在ノ賣買ヲ許

シテ相當ノ税額ヲ定メ直ニ人民ヨリ取立ルナラハ人民ハ

束縛ノ苦シミナフシテ政府モ亦タ余計ノ收納アルヘシ

注如シ政府止ラ得スシテレカールヲ掛ルハ之レヲ人民必用

ノ品ニカケ酒或ヒハ烟草ノ如キ無用ノ品ヨリ先ニズヘシ

レカールノ害アルト此ノ如クナレト回マ又タツノ用ユヘキモノアリ

則下條ニ記セル政府ニテ金銀坐ラタツル其入費ヲレカール

ニテ取立ル方随分便利ノ事ナリ政府ニ金銀坐ヲ持
時ハ則政府日金ノモノホール也

一金銀貨幣ヲ造ルハレガールノ

政府ニテ貨幣ヲ造ルハマセモノヲ加ヘテ得ル処ノ利ハ次ノ
之ノモノヲ償ハシカ為之則チ金ヲ造ル人ノ給料 器械元

金ノ利是金銀流通ノ替リノ利是 是ハ金銀ノイモタ貨幣ニ
ナラサルウチハ實物アレ世ニハ

流通セシメテ利是ヲ
取ルナラサル也 政府ニテ貨幣ヲ作ル時マセモノニ付テ利ヲ

得ルハ是改シテ此ニモノヲ償フノ外金斗ナルハカラスモニコレ

余計ニマセハ貨幣ノ價ハ名ハカリニテ通用シ大ナル弊害ヲ
生スルニ至ラン

モシモマゼモノ、多キ貨幣ヲ流通セシムルハ物價ハ際限ナク

騰貴シ世上必ラス純金ノ位ノミヲ以テ通用スヘシ政府ニ

テハカク品物ノ價上ルニ付此貨幣ニツイテハ此モ利益アル

一ナシト併只一ツノ利益ノ如ク見ユルモノハ役人ノ給料

及ヒ役人ノ隠居料ノミナリ名数ハ同シナレハ實ハ貨

幣ノ位劣リタル文ケ先ノ給料トハ減少シタルナリ然レハ

則トリモ直サス役人ノ給料ト隠居料ヲ減スルト同シト

レ保候如シ政府役人ノ給料ト隠居料トヲ減サントナスハ

是レラ隱ニ減サストモ公ケニテ減ラサハ得失如何ソヤ此レラ

平民ノ所作トシテ見ルハ所謂カタリノ仕業ナリ政府ノ

會計ニケヤウノ不束ナル事アツテハ国民改シテ心服スルノ
理ナカルヘシ

如シ政府此等ノ貨幣ヲ作ルキハ年々取立ツル所ノ税
モ亦甚損失アリ譬ハ從前政府人民ヨリ税銀二千万
ドルヲ取立ル処ニテ其後三分一ノマセモノヲ貨幣ニ加ナラハ
翌年ノ會計必ラス三分一ヲ不足スヘシ其カハリニ給金
憑居料ノ利アルカ如シトハイヘ年々ノ税額ノ減少スルニ
比スレハ必ラス會計ノ損失アルニ仍テ新ラタニ税額ヲ益
サ子ハナラヌ様ニ成行クナリ

一政府ニテ貨幣ヲ造リ其入費ヲ取ルコトナケレハ國中ノ

貨幣ハ只人民ノ為ニ損シ典フルカ如クナレハ国家ノ會計
ニテハ没シテ害ナキコトナリ然レハ其損失ヲ慮レハ其設ノ為ニ
少シノ税額ヲマシテ可ナリ

世界萬國大概政府ニオ井テ貨幣ヲ造ルノ誤ハ世上
賈金ノ憂ヒラ僻ルカ為ナリモシモ世間ハ貨幣ヲ造ル者ヲ
許スナラハ女奴民恣マニ惡金ヲ製造シ煩濫イフヘカラサルニ
至ラシ故ニ凡面洋各國政府常ニ此權ヲ持セリ

注政府ニオ井テ貨幣ニマセモノヲスルトモ没シテ萬國ニ通
用スヘキ金銀貨幣ノヲモナルモノニハマセモノヲ加フヘカラス
乍併此ヲモナル貨幣ニ支配セラルヘキ小サキ貨幣ノ如

キハ先ニ述ヘタルニツノ費用ヲ償フタケノ混合物ハ
害ナキナリ

一^四政府ニテ税ヲ取ルヘキノ理ハ如何

答
人生ノ世ニアルノ土地ニ聚居セハ必ラス一ノ政府ヲ建テ
之ニ保護ヲ乞ヒ人々ノ為シガタキ事アルキハ政府ヲ
依頼セサルヘカラス其政府タルヤ人民ノ依頼スル事ヲ
施シ行ハントスレハ夫レ大ケノカナケレハ能ハス其カラヲ
打建ツルマ夫レカ為ニ費ス処ノ入用ハ人民ヨリ償ハサレハ
外ヨリ出ル処アルヘカラス夫レ政府ノ政府タル國家ノ會
計ヲ集ルノ權ト之レヲ散スルノ權ナケレハ其職掌ハ立タ
サルヘシ故ニ人民既ニ政府ノ保護ヲ受ニ支ヲ欲スルヤ
事ヲ政府ニ乞フテ政府ヲ勞セントスレハ夫レニ報スル大ケ

ノモノヲ政府へ出サレハカラス政府亦タ民ヨリ建ツル
処ノ政府ナルカ故ニ必ラニ報ユル所ノモノヲ取テ改
シテ理ニ背カサルノ事ニ

一如何ナル時ニ政府ハ税ヲ取ルヘキ乎

税ヲ取ルニニツノ時アリ一ニハ政府ニ有セルドメニヨリ
出ル処ノ物用度ニ足ラサル時或ヒハレカールノ取リ立宜
シカラサルヲ發明セニキレ此ニツノ時際ニアタリテ税ヲ取
事トナレリ

政府此際ニ臨ニテ税ヲ國民ニ取ハ当然ノ事トス如
何トナレハ我カ民ノ財本ヨリ出タル利益ニテ政府ノ入

費ヲ償フニヨツテ道理ノ至極セルモノナリ

夫レ税ハ則チ人民財本ノ利益ノ何分ヲ取事ニテ
政府ヲ建ツルカ為ニ取ルヘキノ理ニヨツテ之レヲ取ル故ニ
改シテ出サル能ハス

一其税ヲ攸ムル時誰カ是レヲ取立ツヘキヤ及ヒ誰カ是ラ定メ
如何ナル税ヲ取ルヘキヤ及ヒ何分ノ税ヲ取ルヘキヤ

モシモ其國ノ政府カ一人ノ勢セラ以テ治マルヘキ國ノ建
方ナラハ即チ一人ノ權カラ以テモ取ラルヘシ乍併其支配
サルヘキ州縣各所名代人トカ或ヒハ公議人ト欵ノ有國
ニ於テハ其評議ヲ經サレハ取立ル能ハス

注方今英仏皆公議人承知ノ上ナラテハ取立ル能ハス
一 税ヲ取立ルニ當ツテ道理想ノ法ヲ用ヒ及ヒ又經濟學ノ
法ヲ失フヘカラス道理ノ法ヲ用ユル四ヶ條ノ定則アリ

第一條 税ヲ取立ルキ是非是レヲ取リ立子ハナラヌト云ノ
訣ナケレハ没シテ取立ツヘカラス且取立ル処ノモノカ致ク
ヘカラサル公用ニアラサレハ攸ムヘカラス

第二條 税ヲ取立ル時何ノ為ニ取ルトイフノ目的ナケレハ
取ヘカラス其目的タルヤ國民ノ利益ニ成ルヘキ事ニアラ
サレハ取立ヘカラス

第三條 取立ルニ當ツテ之レヲ平等ナラシメ更ニ偏頗ア

ラシムヘカラス如何トナレハ政府ヨリ人民ヘ蒙ラシムル処ノ
便利ニ應シ或ヒハ其高ニ應シ人民ヨリ其政府ヘ出
スヘキモノナレハナリ

第四條 人民ヨリ政府ヘ税ヲ出スニヨツテ其替リニ政府ヨリ
人民ニ与フヘキモノカ人民出スヘキモノヨリ比格ニオサレテ
相劣ルヘカラス

經濟學ニ於テ亦五ヶ條ノ定則アリ

第一 政府ノ人民ヨリ取立ツル処ノモノハ其財本ヲ損ハシ
ムヘカラス須カラク其利益ノ高ニツイテ取立ツヘシ

第二 税ノ取立方ニヨツテ國ノ富ミヲナスヘキ源ヲ塞

サキ或ヒハ是レニヨツテ國力ヲ弱ハメ國害ヲ起ス等ノ
ヲナキヤウニ取立サルヘカラス

第三 稅ヲ取ルニ及ニテ其法必簡易ニメ下民ヨリ直チニ
政府ノ倉庫ニ攸ムヘキヲ目的トスヘシモシ取立ノ法
繁雜ナルトキハ無益ノ冗費萬民ノ上ニカルヘシ

第四 人間自由ノ理ヲ妨クヘカラス

第五 之レヲ取立ル余斗ノ高ヲ一時ニ取立ツヘカラスモシ
モ多クノ高ヲ一度ニ課スレハ之レヲ集ルノ勞人民ヲ煩ハ
シムルヲ以テ取立タル丈ケノモノハ直チニ政府ノ入用ニ供
スヘキヲ目的トスヘシモシモ余斗ニ取立除クアリテ之レヲ

政府ノ倉庫ニ納レ置ケハ世上流通ヲ妨クル患少ナ
カラス

注 金穀ヲ倉庫ニ藏メラクハタビニ政府ノミニアラス人民
亦之レヲ久シク藏メ置クモノアレハ必ラス世上ノ流通
ヲ妨クヘシ

會計學ニオキテ亦三則ノ守ルヘキアリ

第一 稅ヲ取立ツル幾多ノ種類アリトハ虽モ必前以テ
計算シ能フヘキ極マリアル物ヨリ取立ツヘシ而シテ又此
條ニ屬シタル三ノ心得ヘキ支アリエビシヲ以テ分ツ

正稅ヲ取立ツル品物ハ數目ト其容ニツイテ不分明

ノ支アルヘカラス

ビ税ヲ取立ル中ニハマ、是ヲ出シカヌル者有時ハ止ム
ヘカラサルノ時件起ラサルヤウ心ヲ用ヒサルヘカラス

シ税ヲ取必期限ヲ定メ攸ムヘキモノ、人民ノ手ニ集ル
時々見テ而シテ取立ツヘシ

弟二人民ハ相当ノ税ヲ蒙ラシメテ之ヲ脱セシムヘカラス
且此念ヲシテ人民ニ登セシメサルヤウ其所置宜シキヲ

失フヘカラス

弟三税ヲ取立ルニ成可キ丈ケ役員ヲ減少シ且ツ是レ
ニ費スヘキ入用モ成ヘキタケ儉約シテ取立ツルヲ要ス

道理ノ法經濟ノ法會計ノ法ハ相扶クルノ法ニメ觀
照シタルノ法ニ非ス

一如何ナルモノヨリ税ヲ取立ツヘキヤ

前ニ記載シタル如ク税ハ人民ノ利益ヨリシテ取立ツヘキ

モノナレハ没シテカピタール銀ヨリ取ルヘカラス

注カピタールハ百姓ナレハ所持ノ田畑商人ナレハ商業ニ就テ

ノ財本何ニテモ産業ノ財本ライフニ

モシモカピタールニ税ヲカクレハ人民ノ畜積財本年ニ減スルニ

人民ノ財本減スレハ國家モ亦後ツテ衰微スルニ至ルヘシカ

ルカ故ニ税ハ是レヲ利益ニカケ其カピタールハイツ迄モ是レヲ

保タシムル為ニ政府ヨリヨク、気付ケサルヘカラスト併
本金ヨリ拂フトモ其本金ヨリ出ル処ノ利息アリモシモ
其跡直チニ償フヘケハ利益ヨリ拂フタルモ同シ事々
一元金ヨリ出タル利息ノ内ニ本金ニ續クヘキ利息ノ割リ
前アリ是亦没シテ政府ヨリ取ルヘカラサルモノ譬ハ家ヲ他
人ニ貸シテ家
賃百五十兩ヲ得レハ三十兩或ハ三十兩ノ其家ニ相應シタル
修履料ヲ引ナリ残リヲ以テ利息トナサルヘカラスモシモ是レヲ取立
レハ年ヲ逐テ亦タ國中衰微ノ基トナルヘシ夫故ニ政府ヨリ
取ルノ税ハ利息ノ中ニ就テモ必然本金ニ次テ入用ニ供ス
ヘキ利息ヲ悉ク引去ツタル跡ニテ全ク残レル利息ヨリ取立
ツヘシ此残リノ利息ヲ仏語ニテフロヅイ子ツキ英語ニテプロ

ヒユイト子ツト、云然ルユヘ政府ニテ毎年ノ税高ヲ殖ス事
ヲ欲スルナラハ必ラス子ツトプロヒユイトヨリノ外ハ取ルヘカラス
而シテ是ヲ取ニ臨ニテ猶心得ヘキハ子ツトフロヒユイトヲ没シテ
残ラス取盡スヘカラスモシモ残ラス是レヲ取レハ人民一日モ
身ヲ豊カニ置クノ日ナカルヘシ且残ラス是レヲ取レハ人民舊
来ノ財本ヲ増スナク及ヒ身代ヲヨクスル等ノ時際ナカルヘシ
子ツトプロヒユイトヲ少ク取程人ノ身ノ安マリモツキ互市
通商モ次第ニ盛ニナルヘシ猶其外ニ残ラス是レヲ取ルノ害
アルヲ必ラス國ノ困難ヲ生スヘシ如何トナレハ世上ノ人口年ヲ
逐ツテ増殖スレハ夫ニ應シテ國ノ畜積モ増サルヘカラスト

併國ノ人口ノ増殖スルニ及ニテ畜積ノ増スヲナケハ人民
饑餓逃亡或ヒハ一揆ホ企テ必ラス一國ノ擾乱ヲ起スヘシ
カラカ故ニ國ヲ富スヘキ税ノ取立ハ跡ニ子ツトプロヒユイトラ
残サセ人民各財本ト利益トヲ合ワセテ段々増殖スルトキハ
人口ノ増スニ應シ畜積ヲモ増シ自然ト國ノ隆盛ヲナスヘシ
サレハ國ヲ興スヘキ税ノ取立ハ必ラス子ツトプロヒユイトヨリ
成丈ケ少ナク税ヲ取立ツレハ逐ヒく税額ヲモ増シ國ノ難
澁ヲ免カレテ政府モ亦強盛ニ至ルニ
然リ而メ税法ノ宜シキハニツノ取立ニ帰スニハプロヒユイト
子ツトヨリ取ル又ニハ成丈ケ少ナクプロヒユイト子ツトヨリ

取事會計ノ法則必ラス此ノニツノ外ニ出テサルヘシ

一世人或ヒハカピタール元ヲ以テイントレスト利ノ如ク漸々之レヲ
減少セシムルモノアリ 仮令ハ千金ノ財ヲ持ルモノ之レヲ本金トシ利ヲ
中ヲ以テ諸ノ入用ニアツヘキニ利ヲ得ルヲ勤メス
坐カラニ本金ヲ遣ヒ
減ラスノ類ヒナリ 此ノ如キモノハ其人ノ了簡ノ宜シカラサルモノ
ニメ政府ノ所置ノ宜シキニハアラサルナリ

税ノ種類ノ分ケ方ノ支

種類分テ三トス第一金ニテ拂ヒ或ヒハ作業ニテ拂フノ
税第二人口ノ数或ハ人ノ身分或ヒハ人ノ身代ニツイテノ
税第三デレクトインデレクト第一條ノ中四ノ區別アリ一ハ人ノ
仕業及ヒ道普請ニハ交代ヲ以テ政府ノ夫役ニ立ツ又

三六飛脚四ニ軍役歐洲ニテハ別ニ軍卒ナルモノナク百姓
町人ヨリ交ル兵ノ勤ラスルナリ尤英國ニテハ給料ヲキニテ
國民ヨリ雇入ルナリ

一第二デーム^{一税種}是ハ寺或ハ地頭へ田畑ノ一割ヲ以テ攸ル

一第三麦カラ出スノ税

一第四戦争ノ時際ニアタリ兵糧或ハ馬ノ飼料等ヲ
出ス支

一第五行軍或ハ滞陣ノ時農商ノ家屋ニ賃錢ヲ拂ハス
宿所ニスル

一右ニ述ヘタル税ノ取り方ハ経済学ニ於テハ悉ク宜シカラ

サルノ法トス公用ノ為メニカクルノ税ハ金ヲ以テ取ラサレハ宜シ
カラス政府是等ノ税ヲカクルハ金ヲ出ストイエトモ事實
其用ヲナサルノ時ニアタラサレハ然ルヘカラス乍併前條ノ如ク
我人民ヲ無理押シニ之ヲカ役セシメヨリ金ヲ出シテ之ヲ
雇ハ名正シク事後フテ人民ノ為ニモナリ却テ亦タ政府ノ
為ニモナルナリ

一第二條ニ述ヘタル身分ノ税ハ人ロノ数ニツイテ同様ニ取時モ
アリ或ヒハ人ノ階級ニヨリ或ヒハ人ノ年齢ニヨリ或ハ男女ニヨリ
或ハ夫婦カ寡カニヨツテ夫ニ取ルモノトス此税ヲ分ツテ三トス
一ニハ人ノ頭数ニツイテ取りニニハ人ノ階級ト身ノ有様ニツイテ

取りニハ宗旨ノ區別ニツイテ取り或ハ賣婦等ニツイテ取ル
人ノ身分ニツイテ取ル税ハ會計學ニ於テ没シテ宜シト
セス如何トナレハ人ノ身上階級ホニツイテハ其家産ハ定ム
ヘカラス加之人ノ階級ニヨツテハ政府ノ世話ノ極マリモ付カサル
ヘシモシモ政府ヨリ保護スル処ノ惠ノ多少ニツイテ税ヲ定ム
ル代ハ其受ル処ノ恩ノ厚薄ヲ分タサレハ夫ニ付テ人ノ誣ス
ヘキ税ノ多寡モ定ムヘカラス且第二條ニイヘル人ノ身代ノ税ハ
人ノ所持セル家産則財本及ヒ利益及ヒ其人ノ遣ヒ
拂ヒノ高等ノ此ニツニ税ヲカケル事ニ
財本ニカクル時ハ地面或ヒハ家宅或ヒハ金ノ元高ニカケル也利

益ニカクル時ハレビニツキスト利益ノ中ニテイマタ他ノ掛リ物
トラ引去ラサルモノ或ヒレビニツキトニカクル也人ノ遣ヒ拂ヒニ
カクル代ハ何ニヨラス世人ノ物ヲ買フニ及シテ其遣ヒ拂ヒノ高ニ
カクルニ

第三條ニ述タルゲレクト直ニアタルインゲレクト且ツテアタル此ニツハ
人ノ自身カラ直チニ出スヘキモノト或ヒハ人カラ税ヲ取り集メテ
出ツトノニツナリタトヘハ酒ニツイテ税ヲカクル代ハ買フテ呑ムモノハ
ゲレクトニ此酒既ニ税ノカケリタル酒ナレバ其刻リ合エ酒ノ價上リテアルヘレ之ヲ買
フテ呑ムモノハ買フ時既ニ税ヲ拂フタルナリ
賣テ多少ノ税ヲ集ムルモノハインゲレクトナリ酒店ノ主人ハ税ノカケリ
タル代ケ酒ノ價ハ上ケル
此之レヲ買フ人ハレハイマタ税ノ集ラサルナリ多少之ヲ
盡スニ及ニテ始メテ税ノ全キヲ得ヘシ

一人ノ身代ヨリ金ヲ以テ取ルノ税ヲ最モ税ノ宜シキモノトス乍
併政府ニ於テ一國ヲ一般ニ見渡スル誰カ何程誰カ
幾許トイフ事ハ分ツヘカラス且年々ニ増減スルモノ成カ故ニ
之レヲ知ラント欲スルモ役人モ詮盡スルノ難ク人民モ繁雜ノ
苦シニ堪ヘサルヘシ如シ人民ノ身代ノ多寡カ明細ニ分カリ
從ツテ利益ノ多少モ知レ元金ニカハラヌ様ニ政府カラ税ヲ
取立ツレハ最良法トスヘケレト如何様ノ仕方ニテモ是レヲ明瞭
ニスル事能ハサルヘシ明瞭ハ箇キ荒増トイフトモ極ハメテ難
事ト知ルヘシ其上レビニ子ツトガ人ニ仍ツテ違ヒ時ニヨツテカ
ワリ是ヲ積モル事モ亦難シタトヒ是ニテ積リカ行届タルト

思フトモ實ニ於テハ余程ノ相違アルヘシ只積リ方ノ違ヒノミ
ナラスレビニ子ツトモ時々増減シ概畧世人一年ノ中必ラス利
益ノ同シ高ヲ保モタス或ハ一周日ニメ増減アルヘシ強クテ是レヲ
精細ニ取り調ラントスレハ其事ニ役スヘキ人数モツイヘ且ツ之レヲ
集ムル為メ入用ヲモ費サルヘカラス而メ此身代ノ取立ニ於テハ
困窮セル者ニ就テハ猶一層ノ難事アリ動モスレハ約束ニ從
カヒ拂ヒ出ス支能ハス家財ヲ取上又是レヲ賣拂フ等ノ事
ニツイテ余斗ノ手数ト余計ノ入用ヲ費スヘシ然レハ貧人ヲ
閹キ徒ニ富者而已ニツイテ取立ントスレハ是レモ亦タ不都合ヲ
生シ次才ニ貧人ヲ増スヘシ且此ノ如クニ取立ツレハ漸ク貧人ヲ

増シ國中福有ノモノ減スルカニニ終ニハ國中ノ財本ヲ損シ
國家ノ困難ヲ醸スヘシカルカ故ニ人ノ身代而已ニ就テ稅ヲ
取立ル事ハ極メテ難事ニ屬ス前ニモイヘル如ク人々ノレビニ
子ツトモ精シキ取調ラヘ出来サルカニ強テ是レヲ施コシ
行ナヒ人民ノ詮釁ヲモスラハ入費ノ夥シキヲナス人民ハ
其苦シミ堪ヘスシテ没シテ審カナル取リ調ヘモ出来ヌルヘシ
サル故ニ稅ヲカクルハ生活ノタメ缺クヘカラサル物品ヲ除クノ外
尋常需用ノ物酒烟艸塩砂糖及ヒ蠟燭石礮等ノ類
ニツイテ取立ルノ外他ノ仕方ナキ也ナリ
一尋常需用ノ物ニカクルノ稅分ツテ二トス一ハ平常人ノ需用

ニ供スル物ニツイテ 前條ニ記セル酒
塩烟艸ノ類 及ヒ遊慰ニ供スル物ニツイテ
二ハ政府ヨリ人民ヲ保護スル為ノ務メニツイテ及ヒ人民ノ
為ニ世話スルノ手数ニツイテ
政府人民ノ為ニ是等ノ事ヲ施シ行フニ付テハ必ラス夫レカ
為ニ相当メ入費等モカルモノナレハ人民ヨリ其謝禮ヲ出スハ
当然ノ事ナリ則チ是等ノ事ニ付キ人民ヨリ取立ツヘキ
モノ分ツテ六トス
第一政府ニオケテ人民ノ公事訟訴ヲ裁判スレバソノ帳面
及ヒ書類等ヘ調印スルノ手数料
第二政府ヨリ人民ノ為ニ飛脚ヲ設ケ及ヒ道普請水道

掘割及ヒ樋樞橋梁及ヒ燈明臺等是等ノ度ハ
總テ政府ヨリ人民ニ利益ヲ興フル処ニメ是ニ仍ツテ人民ノ
安全ヲ得ル故ニ稅ヲ取ルヘキハ当然ノ事ナリ

第三政府ニ於テ国民ノ開化ヲ進ムルカ為メニ學校或ハ
寺院等ヲ建立スル等ノ入費亦稅ヲ人民ニ課スヘキノ

理ニ

第四町入用及ヒ村入用ノ類

第五政府ヨリ褒賞撰擧等ニツイテ臣民ヘ渡スヘキ書封
ノ手数料

第六政府ヨリ人ノ宜シカラサル遊慰ヲ取締リノ為博奕

場及ヒ遊女屋等ヨリ取立ツルノ稅

政府モシ右ノ稅ヲ極ムル時其出スモノハ夫レ丈ケノ利益アルニ

非サレハ没シテ出タスヲ能ハサルヘシ 前六條條述ルル物皆悉ク人民利
益アル處ノモノナルニ仍テ其實ナクメ

稅ヲ民ニ取ルキハ没シテ
出スモノナルヘシ

一 羨一條ニイエル尋常需用ノ品及ヒ遊慰ニ供スルノ品ニツイテ

此稅ヲカクルノ次第ハ前ニモ述ルカ如ク世人身代ノ高ヲ精細ニ

調フル事ハ尤モ難キ事ナルカ故ニ其補ヒノ為メ是等ノ稅

ヲカクヘキナリ如何トナレハ人ノ身代ノ高及ヒ利益ノ高カ其

調ヲ盡スヲ能ハサレ極メテ之レヲ輕キ見込ニ從フテ極定ム

ヘシ然レバ必ラス不足ヲ生スヘシ此稅ヲ以テ其不足ヲ補ヒトナリ

此税ノ因ツテ起ル処ニツアリ

一、人ノ身代及ヒ利益ノ高ノ調ヘカ行届カサルヨリテ自然
輕重等差ヲ生スレキ此税ヲ以テ平均セシムル

二、政府ノ不足ヲ補フ事

三、利益ノ高ヨリ少シモ税ヲ出ス隻能ハサル者モ此税ニテ
出サシムヘシ

乍併此税ヲ取立ツキニ於テモニツノ守ラズンハアルヘカサル
カ有一ニハ元金ヲ損セシムヘカサル一ニハ日用生活ノ為ニ
缺クヘカサルモノヲ取ルヘカラス三ニハ必用ニアラサルノ品物ヨリ
取立ツヘシ乍併其必用ニアラサルノ物ニオ井テモ此税ノ取立

ニヨリ人民ヲシテ其職業ヲ廢セシムル等ノ事ヤキ様宜シ
ク高量メ后取立ツヘシ

一、此税ノ因テ起ル処ノ第一條ニイエル身代及ヒ利益ノ高ノ
取調行届サル処ヲ此税ヲ以テ平均セシムル云々ノ事ハ人ノ
子ツトノ入高ヨリ税ヲ取時ニ當ツテ或ヒハ其取立ノ仕方ノ
明カナラサルヨリ自然ト不平均ヲ生シ或ヒハ相当ノ税則ヲ
脱スルモノアラシ假令ハ今爰ニ三人ノ商人アリテ同シ割合ノ
利益アラシニ二人ハ政府ノ調ラヘシ仍テ相当ノ税ヲ攸メ一人ハ
政府ノ調ラヘノ行届カサルニ仍テ相当ノ税ヲ脱シタルハ
外ノ二人ヨリハ夫レ丈ケ余斗ノ利金アラシ余計ノ利金アルハ

必ラス是レヲ以テ物ヲ買フカ或ハ是レヲ遊慰ノ為ニ費ス
ヘシ然ル知其品其物ニツイテ別ニ税アルハ最初利益ニ
ツイテ相当ノ税ヲ攸メタルト同様ニテ此三人ノモノ初メテ
平均ヲ得ヘシ

第二政府ノ不足ヲ補フトイエルハ初メ利益ノ高ヲ積ルハ
少シク輕クシテ積ルヘキ訣ナルカ故ニ自然ト政府ノ用度
不足ヲ生スヘシ然ル時此品物ノ税ヲカケテ之レヲ補フヘシ
第三貧人ハ利益ノ中ヨリ税ヲ出スナク適マシ此ノ利
益アルモ其取立甚タ難ク前ニイヘル如ク動モスレハ其家
産ヲ取上ル等ニ就テ余計ノ手数ヲ費スヘシ是ヲ品

物ニ付テ取ルハ貧人トイエトモ其分ニ應シ或時ハ生活ニ供
スル物ノ外多少ノ物品ヲ費シ用ルヲアルヘシ是等ノ品ニ税
ヲ掛クル自然ト貧人モ税ヲ脱セサルノ理ニ依令ハ職人ハ
其業艱ニヨリ其利益量ルヘカサルノ理ニ依令ハ職人ハ其
業艱ニヨリ其利益量ルヘカサルモノアラシヨシ是レヲ定ムルに
必ラス實ニオサテ不都合ヲ生スヘシサルニ仍ツテ其人ノ命ニ
関セル必用ノ物ノ外ニ税ヲカクレハ他ノ利益ヨリ税ヲ出スモ
同シ誤ニテ其人ニオサテモサセル苦シモナカルヘシ

一 國債ノ支

太平無事ノ世ニ當ツテ政府ノ入費ノ高ラ國中ヨリ集ムル
支ノ難澁ナルヲ見レハ必ラス政府ノ仕方ノ宜シキヲ失フモ
ノト知ルヘシ其原因必ラス政府ノ奢侈ニ出ルカ或ヒハ取立ノ
不足ヨリ起ルヘシ政府ノ奢リニ出テタル支ナレハ遣ヒ方ヲ減ラ
スノ外仕方ナク取立不足ナレハ其取立ル処ノ税ヲ増加セシ
ムルノ外他ノ手段アルヘカラス乍併税ヲ益スニアタツテハ深ク
熟慮計算シ以テ平民互市生産ノ妨ケニナラサルマウヨク、
注意スヘキナリ

政府ノ尋常ノ入費ノタメニハ國債ヲ生スヘカラス非常國難

等ノ支ニ付額外ノ入費アルキハ止ヲ得サルノ訣ナリ國債ハ
實ニ止ヲ得サルノ事ニシテ例年ノ取立モノ不足シ政府立
不立ノ際ニ用ユルノ訣ナルユヘ政府ノ諸有司ハ是ヲ以テ實ニ
大ナル國ノ禍ヒト思ハスハアルヘカラス乍併此ノ如ク止ヲ得サ
ルノ訣ナルカ故ニ支ニテ是ヲ借ノ上マシキモノト思フヘカラス只
借リ入ノ仕方ノ得失アルニ仍ツテ國ノ存亡ニモ関スルノミモ
借リ入レノ仕方宜シキニ出レハ別ニ國ノ困難ヲモ生セサルヘシ
去リナカラ政府ニテ金ヲ借リ上ル時ハ密ニ是レヲ借リ上ケス
須カラク是レヲ公然ニスヘシ前ニ述タル如ク既ニ税ノ取立方
ニ於テモ隱シテ取ヨリハ公然ナルヲ然リトス國債モ亦是

ト同シク隱密ナル仕方尤宜シカラサルトス

通常世人ノ窮スルニ及ンテ他ヨリ金ヲ借ルヲ以テ恥ト思フカ
如キ臆見ヨリ政府亦是等ノ支ヲ為スモノナリ政府ニ於テハ
支ニテ是レヲ公明ニ約束ノ如ク是ヲ拂ラヒ毎年出納ノ
高ヲ明細新聞紙ニ出シテ信テ人民ニ失フサレハ支ニテ害
ナキトナリ

國ノ會計ハ永続スヘキモノニメテ廢減スヘキモノニ非ラス或ハ
敵國ヨリ乱入シテ其政府ヲ覆ヘスカ又ハ役人ノ大ニ成ル失
錯アルニアラサレハ會計ノ盡ルニハ至ラサルヘシ

往時仏國ニ於テ密ニ國債ヲ負フノ仕方四種ノ別アリ

一ニハ通常攸納ノ節ニ至ラサルノ前ニ當リテ税ヲ民ニ課

スル此ヲ課スルハ借リ入タルキヨリ通例攸納ノ氏
造ノ際ノ利是ラ人民ニ拂ハサルヘカラス

二ニハ拂フヘキノ時ヲ延引スル也

是等ノ法甚宜シカラス政府ハ人民ヨリ出ス処ノモノガ夫レ
大ケノ利是ヲ引去勳定シテ出ス事ニナルナリ

三ニハ楮幣ヲ造ル也

紙幣製造ハ世間多ク用ヒラルヘキノ仕方ニテ會計ノ有
司最モ好ニテ為スヘキノ事業タリ是ヲ造ルヤ必ラスイッ迫
モ造ツテ宜シキモノトシ動モスレハ限リモナク製造スルニ至タル
夫レ紙幣モ亦一ノ國債ニシテ概子バンクノ為替ト同様

ノワケニ尤バンクハ只商人ノ便利ヲ以テ造リ紙幣ハ則政府
ノ為替ニシテ約シテ之ヲ云ハ政府ニテ人民ヘ無利是ニテ
金ヲ借リ上ケタルナリ

大凡何國ノ政府ニ於テモ紙幣ヲ造リ出シ今迄其國ノ
財政ノ立行キタルヲ見ス必ラス會計ノ破ラレヲ見ル是本
紙幣ノ罪ニアラス只政府ノ仕方ノ宜シカラサルカ故ナリ

注 英國ニハ政府ノ楮幣ナクバンクノ楮幣ノミアリ是ハ往

時千八百十五年初ノ頃内外ノ貿易頗フル繁榮ヲ
極メタリシニ金銀貨幣ノ不足セシ也アリ夫ニ就テ
暫時バンク兩ヨリ引替ノナキ金札ヲ出シタリ乍併國ノ

貿易ノ盛ニナルト金銀貨幣ノ助ケアルヲ以テ格別ノ
差出ニモ成ラザリシナリ而シテ是ハ全ク政府ノ入用ノ
為ニ出セシニテハナク國民交易ノ路ノ塞カルニ仍ツテ一時
融通ノタメニ出タセシナリ

楮幣ノ金銀貨幣ト同様ニ通用スルノ理ハ設ニテナキ
ニテ政府モ紙幣ヲ造ルハ其相場必ラス金銀貨幣
劣ルヘシ人民モ少シニテモ其政府ヲ危フムノ心アルハ倍々
以テ其相場ヲ下スヘシ然ル時政府モ強井テ其札ヲシテ名
目ノ如ク通用セシメントスレハ物價必ラス限りナク騰貴シテ
必ラス金札ノ下落セルト少シモカハルナシ

タトハ今百兩ノ品
物アラシ如シ其金札

ノ實ノ相場ハ十兩ニ下リ政府ヨリ強井テ名目
ノ如ク通用セシメニハ其品物必ラス百二十兩ニ上ルヘシ
及ニテ政府猶強井テ紙幣ノ相場ヲ止ムレハタトヒ金銀
幣ニテ物ヲ買フトモ紙幣ニテ買フトモ同様ニテ物價格外ニ
上リ此ニ至ツテ國內ノ金銀數ヲ願ケテ外國へ出ルニ至ルヘシ
往時仏國ニテアシニヤト稱フル処ノ紙幣ヲ造リシ頃其幣ニ
相場ヲ生セシニ政府ヨリ無理押シニ其相場ヲ止メタリシニ
物價際限無ク騰貴シ儉約ナル一度ノ食料金札五百
元ヲ拂フニ至レリ是ヲ以テヒナシモ忽崩潰シ人民ノ安全ヲ
失ナヒ而シテ政府ノ入費倍々高サシ諸有司ハ俸金ヲ受
ルノ易ナク少給ノモノハ糊口ニ難ク殆ント全國ノ困難ヲ

醸造セリ然ル故ニ政府紙幣ヲ出ス成ニハ宜シク世トヘ
正楮勝手次第ノ取引ヲ許シ政府ハ元價ニテ之レヲ
納レ各所各方人民ノ好ミニ從カヒ引替所ヲ設ケテ其便
利ヲ得セシムヘシ

四ニハアヌイチー 是ハ政府ニテ人民ヨリ金ヲ借リ上ケ一生ノ中一年何程ト割リ方ヲ
定メ通帝世間ノ利是ヨリ極ハメテ高利ヲ以テ拂ヒ出シ其人
死スル時ハ元利ト拂ハサルノ仕方ニテ時トシテハ
前以テ年限ヲ定ムルトモアリナリ 是尤宜シカラサルノ仕方ニテ

其人一代ハ余計ノ利是ハ有レトモ子孫ノタメ一錢ヲ残サス
終井ニ人民ノ本金ヲ損シ政府モ亦甚シキ高利ヲ出サ、
レハ借ルノ能ハサル故損失アリテ利益アルナシ

一トニチー 是亦アヌイチーニ類シタル物ニシテ五十人或ハ百人一組ノ社ヲ
設ケ同負數ノ金ヲ持寄リ政府ヨリ利是ヲ割リ拂ヒニシテ生

残りタルモノハ段々ト利金ヲ多ク割リ増シ一社悉ク死上シ盡ルニ及ニテ政府其元
利ヲ攸サムルニテ是モ亦人民ヨリ金ヲ借リ上ケ割リ拂ヒニスルモ同シトナリ此仕方
政府ノ外敢テ 是等ノ仕方皆後日ノ為宜シカラサルノ仕方ナリニ
仍ツテ政府ニ於井テハ為ヘカサルノ事ナリ
以上四ツノモノ國債ノ宜シカラサルモノナリ

一國債ヲ公然ニスル事

公然ノ國債ヲ政府ノ最良法トス政府如シ是レヲ為サント
欲スルハ先ツ其利是ノ出ル處ニ目的ヲ定メサルヘカラス及令
元金ヲ皆済セシムル見込ナクモ只利是而已ヲ拂フヲ以テ
安心スヘシ如何トナレハ政府ヨリ金ヲ借ル時多少ニヨラスヲブ
リゲーシヨシ證書ヲ以テ各箇ニ借リ入レ人民ハ自在ニ其證
書ヲ賣買スルノ訣ニ元金返済ノ目的ナクモ別ニ不都合
ナキナリ及令元金ヲ政府ヨリ人民ヘ返スヘキ約束ヲナシ
其後事故アリテ延引スルトモ利是ヲ減シ利是ヲ止ムル程ノ
難澁ハナキナリ

注或政府ニハ人民ヨリ金ヲ借り入レ相當ノ利是ヲ拂ハシ
テラ約シ其後利是ヲ拂フ事少シク難渋セシモ其利
是ハ税ヲカケル事アリ最モ宜シカラサル事ニテケ様ノ
アル氏ハ向後安シテ人民ヨリ政府ヘ用金ヲ出ス支ナカル
ヘシ是レ則道理ノ法ニ背クカ故ナリ

英國ニテハシニキンフハンノ仕法ヲ以テ人民ヨリ金ヲ借り三十
七年ニメ皆済スルノ法アリ後令ハ五分ノ利是ヲ以テ人民
ニ拂フヘキモノヲ政府ニテハ六分ノ利是ヲ以テ拂ラヒ出シ其一分
ハ別ニ役場ヲ設ケテ是レヲ預カリ一分ノ利是年々返テ
増加シ先ニ人民ヘ渡シタル證書ノ一枚ヲ買フ犬ケノ金カ

集マル時ニハ其金ヲ以テ一枚ヲ買ヒ翌年ニ至ルハ前ノ一分
ト既ニ皆済シタルモノ五分ヲ加ヘ又一年ヲ経ルハ又加フルニ
漸ク先ニ出シタル證書ヲ買ヒ度シテ三十七年ニシテ惣計
皆済ニ至ルナリ且ツ此ノ證書世上ニアリテ時々其價昇降スル
ニハ低價ノキニ之レヲ買ヒ上クハ政府ハ更ニ利益ヲ得ルナリ
此法甚タ便利ナル仕方ナリ或ヒハ此法ヲ害アリトイエルモノ
アレトモ是レモ亦仕方ノ悪シキヨリ起リタル説ナリ是レヲ拂フニ
他ヨリ金ヲ借りテ拂ヘハ宜シカラサレトモ年々諸税ノ集マリ
高ノ内ヨリ拂ハ別ニ害ナキナリ
政府ヨリラブリゲシヨニテ人民ヘ出シテ金ヲ借り利是ヲ拂フ

ヘキノ時限ヲ定メ其時々人民ノ乞ニ應シ利是ヲ拂フ者
ナリ然レトモ此證書時トシテ燒失或ヒハ盜難ノ恐レアレハ
是レヲ別帳ニ記シ其渡シタル人ノ姓名ヲ書入レルナリモシ
此人他人ヘツノ證書ヲ賣キハ亦其申出ニ隨カヒ其人ノ
名前ニ書改タルカ故ニ其恐レアルナシ

政羅巴各国皆クレヂツト假リニ名譽ト
認スミシトイフ事アリ政府ノ

興廢會計ノ損益スヘテ皆此ノクレヂツトニ著ルニ當時英
國尤モクレヂツトノ高キニ居リ宇國之ニ次キ仏國又之レニ
次ク乍併岩主及ヒ政府ノ勢ヒニヨリ其昇降定ムル
アルナシ後令ハ政府其人民ヨリ頗信重セラル、キハ之前ニ

イエルヲブリゲーシヨシ殆ント元數ノ如キ價ヲ以テ賣買ス是レ
則チクレヂツトノヨキナリ一朝モシ政府立國ノ本意ヲ失ナラ
カ或ヒハ人民ヘ對シ不法ノ所置アルカ或ヒハ議事ノ公平ナラ
サルアレハ忽チ下落シテ際限ナキニ至ル其應驗ノ速カナル
響音影ノ如シカルカ故ニ此ノクレヂツトヲ能ク保ツキハ政府ニ
オキテ一物一錢ノ有ラサルヲ憂ヘス如シ事アルハ人民相
争ツツテ用金ヲ出シ其政府ヲ救フナリ







